

安全に強い人財を育成し、

「止める、呼ぶ、待つ」で安全最優先意識の定着へ
～我社の「見える」安全化の取り組み～



過去の災害事例看板を
災害発生現場に大きく掲示!

過去の重大ヒヤリハット事例
看板も発生現場に大きく掲示!

過去に発生した、災害や重大ヒヤリハット事例の看板を
発生現場に大きく掲示し、再発・風化防止を図っています

チェンブロック
手指挟まれ
擬似体験装置



手指挟まれ擬似体験装置では竹の棒での挟まれ体感で吊り荷に直接手を触れないことや合図の重要性を学びます

ベルトコンベア巻き込まれ
擬似体験装置に



竹の棒を巻き込ませトラブル体感！



ロープスイッチで緊急停止！



竹の棒は
バラバラに…
これが自分の
腕だったら…

ベルトコンベア巻き込まれ擬似体験装置では竹の棒での巻き込まれ体感とロープスイッチでの緊急停止を訓練します



安全帯ぶら下がり体験装置では、実際に宙吊り状態を体験
転落防止措置の必要性を受講者に理解してもらいます

アーク溶接機 始業前点検 体験



ガス溶断機 始業前点検 体験

アーク溶接機始業点検チェック表

NO	点検項目	点検内容	チェック	要 点
		修理用分電盤借用許可		分電盤施錠の確認。
1	本体、工器具	本体、外箱等に著しい損傷はないか。		充電部の露出がない事。
		ホルダーの絶縁物の損傷、スパッターの著しい付着、 ヒス等の怪音 はないか。		
		ケーブル接続用T型レンチはあるか。		
		皮手、保護面、保護マスクなどは良いか。		
		自動電撃防止装置の作動確認はしたか。		押しボタンを押してランプの点灯を確認すること。
2	電源	一次電源NFB切り(OFF)。		
3	一次側配線	本体アースの接続は良いか。		•配線端子で接続する。 •塗装は落として接続する。
		一次側配線ケーブルに損傷、芯線露出はないか。		•本体端子の 充電部 が露出していないこと。
		一次側配線ケーブルの取付は良いか。		•露出部は絶縁処置をする。 •T型レンチで締め付ける。
		分電盤端子台保護カバーは良いか。		•充電部が露出していないこと。 •露出部は絶縁処置をする。
4	二次側配線	二次側配線ケーブルに損傷、芯線露出はないか。		•アース側はクランプで 加工物の破断 に感察に取る。
		配線取付け部ごみはないか。		•溶接部近傍の塗装は落として接続。
		充電部蝶ネジ等露出してないか。		•端子カバーが固定されていれば取付蝶ネジ等の絶縁養生はしなくて良い。
		ケーブル、コネクタに損傷、症はないか。		
		ケーブル、コネクタはロックできているか。		
5	一次側電源	二次側の電源NFB切り(OFF)を確認し、一次側電源を切る。		
6	二次側電源	ホルダーが接地していないか確認し、二次側電源を入れる。		
7	標 識	「使用中」 標識は付いているか。		使用者を指定すること。

※チェック欄に○、※で記入し、※は理由を書いて下さい。

点検チェック表に基づき実物（アセチレン・酸素ボンベ、吹管、ホース）を使用して始業前点検の手順を学びます



マスクフィッティングテスターで



防じんマスクの
漏れ率チェック



不合格の場合は再測定！



合格するまで測定します

マスクフィッティングテスターを導入し、防じんマスクを着用する
作業者全員の漏れ率をチェックし、正しい装着方法を身に付けます



設備に挟まれ、ひび割れ！

り災者が着用していたヘルメットや



り災者が着用していた防じんマスクの

面体部にキズあり！



「現物」を見せて、職長教育



受講者に災害の恐ろしさを伝えます

内部講師による職長教育では、り災者が身に付けていた保護具の「現物」を見せて災害の恐ろしさを受講者に伝えます